



# 真冬のかなやま湖を満喫 第2回かなやま湖 氷上ばかんす!

真冬のソフトボール「アラスカ野球大会」

2月3日、厚い氷が一面に広がるかなやま湖で、南富良野町商工会青年部の主催により「第2回かなやま湖氷上ばかんす!」が行われ、町内外から参加した皆さんが湖上でのバカンスを楽しみました。

ちよつと変わった真冬のソフトボールとして昨年に引き続き行われた「アラスカ野球大会」には、3チームが出場。試合では、通常のソフトボールのように1塁に向かって走ってしまったり、なかなか飲物などを完食できずに、3塁ベースを踏む前にアウトになってしまうなどの珍プレーが続出し、笑いとお歓声の中、参加した皆さんは思い存分真冬のソフトボールを楽しんでいました。試合の結果、地元「消防チーム」が優勝旗を手に入れました。

冬のかなやま湖の風物詩「ワカサギ釣り」の体験では、家族連れなどが参加して、その場で釣れたワカサギを天ぷらにして、味わっていました。

かんじきを履いて湖上を



氷の穴あけに挑戦・厚さ40センチもありました

歩く「氷上ウォーク」では、かなやま湖の氷の厚さを調べたり、氷上に積もった雪に塩をかけて食べるなど、普段出来ない体験に感激した様子でした。

小学生以下を対象に行われた「犬ぞり体験」では、大きな歓声を上げて楽しんだ様子でした。



開始から1時間、ようやく釣れました

また、今年の新たな取り組みとして、カーリングを湖上で再現する「子どもカーリング大会」が行われました。カーリングストーンに見立てた「漬け物石」を滑らせ、前方の目標物に当てるゲームで、オリンピック選手顔負けのプレーや小さな子どもは姉妹で協力して投げるなど、ほのぼのとした光景が見られました。

お昼には、かなやま湖のイメージソングを手がけた皆川大輔さんによるライブが行われ、氷点下の中でのかなやま湖のイメージソング「ナチュラル」などを熱唱し、イベントを盛り上げて



子ども達は大歓声! 犬ぞり体験



裏方として精力的に動き回った学生の皆さん

本イベントには、冬のイベントを体験するために北海道浅井学園大学生涯学習システム学部の教授と学生の皆さんが来町し、前日の準備や当日の売店、各種行事の裏方としてイベント運営に携わり、精力的にお手伝いをしていました。



今度は目標に当たるかな? 子どもカーリング